

## 国体選手の選考方法について

### ○少年の部

#### 1. 最終選考会出場選手

- ※ 国体予選会優勝選手 1ペア2名
- ※ 県春季・県高校総体・国体予選会のポイント上位2ペアまたは4名
- ※ 強化委員会推薦 3ペア6名以内。  
以上最大でも、6ペア12名。

#### 2. 選考方法

- ※ 国体予選会の翌日に、最終選考会をダブルスで行う。

#### 3. 国体選手決定方法

- ※ **最終選考会のポイント合計上位の1位・2位の選手 4名**
- ※ **強化委員会の推薦する 4名**  
**以上合計 8名**

- ※ ただし、東北高校選手権大会個人戦で優勝した選手、または県3冠（県春季・県高校総体・国体県予選会。以下同じ。）となった選手は、国体選手として内定。

#### 4. エントリーについて

- ※ **エントリー選手は8名の中から、強化委員会が決定する。**

### ○成年の部

#### 1. 最終選考会出場選手（従来通り）

- ※ 国体予選会第2位選手 1ペア2名
- ※ 県春季・国体予選会のポイント上位1ペアまたは2名
- ※ 強化委員会推薦 4ペア8名以内。  
以上最大でも、6ペア12名。

#### 2. 選考方法

- ※ 国体予選会の翌日に、最終選考会をダブルスで行う。

#### 3. 国体選手決定方法

- ※ **国体予選会優勝選手 2名**
- ※ **最終選考会のポイント合計上位の1位の選手 2名**
- ※ **強化委員会の推薦する 2名**  
**以上合計 6名**

- ※ ただし、東北選手権大会個人戦で優勝、または県2冠（県春季・国体県予選会。）となった選手は、国体選手として内定。

#### 4. エントリーについて

- ※ **エントリー選手は6名の中から、強化委員会が決定する。**

## 国体監督・選手の決定方法について

### 1. 監督・スタッフ

#### (1) 少年男女

- ① 監督は、国体報告会時に強化委員会で推薦し、県連盟会長の承認を得た者とする。なお、県連盟理事会に報告したのち、県連盟が委嘱する。
- ② コーチをはじめとするスタッフは、国体報告会時において、強化委員会が指名する。なお、県連盟理事会に報告したのち、県連盟が委嘱する。
- ③ 監督・スタッフの任期は国体報告会までとする。ただし、再任は妨げない。  
また、任期中にやむを得ない事情により退任する場合は、強化委員長が県連盟会長に報告し、了解を得ることとする。

#### (2) 成年男女

- ① 担当チーフは、国体報告会時に強化委員会で推薦し、県連盟会長の承認を得た者とする。なお、県連盟理事会に報告したのち、県連盟が委嘱する。  
監督は、国体最終選考会時に、強化委員会で推薦し、県連盟会長の承認を得た者とする。
- ② コーチをはじめとするスタッフは、国体報告会時において、強化委員会が指名する。なお、県連盟理事会に報告したのち、県連盟が委嘱する。
- ③ 担当チーフ・スタッフの任期は国体報告会までとする。ただし、再任は妨げない。  
また、任期中にやむを得ない事情により退任する場合は、強化委員長が県連盟会長に報告し、了解を得ることとする。

### 2. 選手

#### ○少年男女

- (1) **最終選考会のポイント合計上位の1位・2位の選手(個人)4名と強化委員会の推薦する4名の合計8名**とする。ただし、東北高校選手権大会個人戦で優勝した選手、または県3冠(県春季・県高校総体・国体県予選会。以下同じ。)となった選手は、国体選手として内定する。

注1 東北高校選手権大会個人戦優勝と、県3冠となった選手が異なる場合、最終予選会には最大4ペア8名を選び、国体選手として2ペア4名を強化委員会が推薦する。

注2 東北高校選手権大会個人戦優勝・県3冠となった選手が出た場合、最終予選会には最大5ペア10名を選び、最終予選会のポイント1位・2位の選手4名と強化委員会が推薦する2名を国体選手とする。

**注3 エントリー選手は8名の中から、強化委員会が決定する。**

注4 最終選考会が何らかの事情により実施が不可能となった場合(雨天等による中断を含む。)は、強化委員会で国体選手を推薦し、県連会長の承認を得るものとする。

○成年男女

- (1) 国体予選会の優勝選手 2名
- (2) 最終選考会の1位の選手2名と強化委員会の推薦する選手2名とする。

※ ただし、東北選手権大会個人戦で優勝した選手、国体予選会の優勝選手は、国体選手として内定する。東北選手権と国体予選会の優勝選手が違う場合は、最終予選会の1位の選手とする。

**注1 エントリー選手は6名の中から、強化委員会が決定する。**

注2 最終予選会が何らかの事情により実施が不可能となった場合（雨天等による中断を含む。）は、強化委員会で国体選手を推薦し、県連会長の承認を得るものとする。

**最終選考会出場選手の決定方法について**

○少年男女

- ※ 国体予選会優勝選手
- ※ 県春季・県高校総体・国体予選会のポイント上位2組または4名
- ※ 強化委員会推薦 3ペア6名以内。  
以上最大でも、6ペア12名までとする。

○成年男女

- ※ 国体予選会決勝進出組
- ※ 県春季・国体予選会の合計ポイント1位
- ※ 強化委員会推薦 4ペア8名以内  
以上最大でも、6ペア12名までとする。

注 ポイントが同点の場合は、大会における成績が上位の者を優先する。